

一、戦争終結後ノ應急措置關係

- 一 大東亞戰爭終結ニ伴フ國民勤労動員令施行ノ爲ニスル應急措置ニ關スル件（昭二〇・八・一
勸發第八八二號厚生省勤勞局長）
- 一 昭和二十年八月二十二日厚生省告示第八十六號 國民勤労動員令施行規則第十八條ノ學校指
定ニ關スル件等廢止ノ件
- 一 昭和二十年八月二十三日厚生省告示第八十七號（國民勤労動員令施行規則第二十九條第一項
第十三號ノ規合指定ノ件）
- 一 戰爭終結ニ伴フ國民勤労動員署ノ業務執行ニ關スル件（昭二〇・八・二一、勸發第八八五號
厚生省勤勞局長）
- 一 戰爭終結ニ伴フ工場事業場從業者ノ應急措置ニ關スル件依命通牒（昭二〇・八・、二二、厚
生省發勸第一八九號厚生次官）
- 一 金融業、運輸通信業並ニ建築業等ニ於ケル元從業者ノ原職復歸ニ關スル件（昭二〇・八・二
七、勸發第八九二號厚生省勤勞局長）
- 一 戰爭終結ニ伴フ歸還軍人ノ復員ニ關スル應急措置ノ件（昭二〇・八・二九、厚生官勸發第一
九二號厚生次官）

勸發 第八八二號

昭和二十年八月二十一日

厚生省勤労局長

各地方長官殿

(東京都へ督視總監トス尙律太處長官ヲ含ム)

大東亞戰爭終結ニ伴フ國民勤労動員令

施行ノ爲ニスル應急措置ニ關スル件

大東亞戰爭終結ニ伴フ國民勤労動員令ノ施行ニ關シテハ不日根本的措置ヲ講ゼラルベキモ差當リ左ノ應急的措置ヲ講ズルコトト相成候ニ付テハ之ガ實施ニ萬遺憾ナキヲ期セラレ度

記

一、解雇退職ノ制限ニ關シテハ近ク通牒相成可キ「工場事業場從業者ノ戰後應急措置ニ關スル件」ニ依リ措置スペキコト

二、男子就業ノ禁止又ハ制限ハ之ヲ廢止スルコト(令第七條則第九條別紙告示參照)

三、土建等日傭統制ヲ除キ雇入就職ニ關スル規制ハ之ヲ廢止スルコト（令第十八條則第二十九條別紙告示参照）

四、理科系學校卒業者雇入制限ハ之ヲ廢止スルト共ニ從來ノ雇入割當ハ之ヲ取消スコト（令第十八條則第十八條別紙告示参照）

五、勞務供給業者ニ依ル從業者ノ使用又ハ從業ノ制限ハ之ヲ事實上停止スルコト（令第五十七條則第六十九條）

厚生省告示第八十六號

昭和十三年八月厚生省告示第一百十九號（國民勤勞動員令施行規則第十八條ノ學校指定ニ關スル件）昭和十三年八月厚生省告示第二百二十號（國民勤勞動員令施行規則第十八條ノ學科指定ニ關スル件）昭和十六年六月厚生省告示第五百七十五號（國民勤勞動員令施行規則第二十九條第一項第五號ノ事業指定ニ關スル件）昭和十六年十二月厚生省告示第五百七十六號（國民勤勞動員令施行規則第二十九條第一項第十二號ノ者ノ雇入及就職ノ場合指定ニ關スル件）昭和十八年九月厚生省告示第五百五十六號（國民勤勞動員令施行規則第九條ノ規定ニ依ル男子從業者ノ雇入、使用、就職及從業ヲ禁止スル職種、年月日及其ノ範圍指定ニ關スル件）昭和二十年五月厚生省告示第四十四號（國民勤勞動員令施行規則第十八條ノ規定ニ依リ様式ニ關スル件）及昭和二十年五月厚生省告示第四十五號（國民勤勞動員令施行規則第二十條ノ規定ニ依ル申請又ハ請求ノ期日ニ關スル件）ハ昭和二十年八月二十一日之ヲ廢止セリ

昭和二十年八月二十三日

厚生省告示第八十七號

國民勤勞動員令施行規則規則第二十九第二十一項第十三號ノ場合ヲ左ノ通定メ昭和二十年八月二十一日ヨリ之ヲ適用ス。

昭和二十年八月二十三日

厚生大臣 松村謙三

厚生大臣 松村謙三

一、鐵、石炭、亞炭等、素材生産業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
二、住宅、建築其ノ他復舊土木建築關係（セメント、木材、釘、家具等關聯資材器具ノ製造業ヲ含ム）ニ於ケル雇入及就職ノ場合
三、電氣事業、瓦斯事業及水道事業ニ於ケル雇入及就職ノ場合

- 四、運輸通信關係業（車輛、木造船、內海航路ノ船舶及其ノ關聯資材ノ製造業及修理業ヲ含ム）ニ
於ケル雇入及就職ノ場合
- 五、醫藥品其ノ他醫療衛生用物資ノ製造業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 六、製鹽業及肥料、農機具ノ製造業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 七、陶磁器、紙、皮革、油脂及電機用具其ノ他ノ民需用機械器具ノ製造業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 八、紡織其ノ他衣料關係業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 九、食料品其ノ他ノ生活必需物資ノ製造業及修理業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 一〇、物品販賣業、娛樂興業及接客業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 一一、浴場業、理髮業及洗濯業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 一二、家事使用人ノ雇入及就職ノ場合
- 一三、金融保險業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 一四、印刷業ニ於ケル雇入及就職ノ場合
- 一五、教育事業、醫療衛生事業其ノ他ノ公務自由業ニ於ケル雇入及就職ノ場合

一六、公共團體ニ於ケル雇入及就職ノ場合

一七、其ノ他民需產業ニ於ケル雇入及就職ノ場合

勤發 第八八五號

昭和二十年八月二十一日

各地方長官殿（東京ハ警視總監）

厚生省勤勞局長

戰爭終結ニ伴フ國民勤勞動員署ノ業務執行ニ關スル件

大東亞戰爭ノ終結ニ伴ヒ國民勤勞動員署ノ業務運營ニ關シテハ既ニ夫々御配意中ノコトト存候處差
當リ概不左記ニ依リ應急措置方可然御配意相成度

記

一、勞務統制ノ強化ニ伴ヒ馴致醸成サレツツアリタル從來ノ執務態勢ヲ徹底的ニ切替ヘ真ニ皇國再
建、同胞相愛ノ鞏固ナル信念ノ下職業開拓幹旋ノ第一線現業機關ニ相應セル執務態勢ヲ急速ニ確
立セシムルコト

二、管内産業、經濟、勞務事情ヲ的確ニ把握セシメ轉移スル情勢ニ對應シ業務ノ圓滑適確ナル運營ノ基本資料タラシムルコト

三、業務ノ運營ハ國民ノ完全就職ヲ目途トシ國民生活ノ安定、戰時復舊及民需產業ノ復興ニ之ガ重點ヲ指向スル如ク職業ノ開拓斡旋ニ努メシムルコト

(一) 國民生活ノ安定ニ付テハ特ニ食糧増產、歸農開拓、自營業復活授產授職、職業訓練職業補導等ニ付關係方面ト聯絡提携シ其ノ地方ノ實狀ニ即應スル如ク適當施策實施セシムルコト

(二) 戰後復舊ニ付テハ店舗、住宅等ノ修理簡易建築資材ノ入手、戰災地整理取片付等ノ外官廳、公共團體等ト聯絡シ輸送、通信、道路、橋梁、水道、瓦斯、電氣、綠地其ノ他各種施設ノ急速修理等ニ付必要ナル勞務ノ斡旋ニ努メシムルコト

(三) 民需產業復興ニ付テハ昭和二十年八月二十一日ヨリ施行ノ厚省生告示第八十七號「國民勤勞動員令施行規則第二十九條第一項第十三號ノ場合指定ノ件」ニ掲タル各種民需產業ニ付積極的ニ求人開拓斡旋ヲ行フコト

(四) 離職者ニ付テハ特ニ傷痍軍人、歸還軍人、徵用解除者ヲ優先斡旋スル如ク留意セシムルコト

四、求人部(係)、相談部(係)ヲ擴充強化スルト共ニ巡回求人班、相談班等ヲ編成シ之ガ積極的活動ヲ展開セシムルコト

五、工場事業場内ニ人事相談部(係)ヲ特設セシメ國民勤勞動員署ト聯絡シ轉職其ノ他人事相談ニ當ラシムルコト

厚生省發勸第一八九號

昭和二十年八月二十二日

厚生次官

各府縣長官殿

關スル件依命通牒

戰爭終結ニ伴フ工場事業場從業者ノ應急措置ニ

戰爭終結ニ伴フ工場事業場從業者ノ暫定措置ニ關シ八月二十二日次官會議ニ於テ別紙「工場事業場從業者ノ應急措置」決定相成候條左記御了知ノ上直チニ之ガ趣旨ヲ管下國民勤勞動員署其ノ他關係官署ニ示達スルト共ニ民間工場事業場ニ周知徹底セシメ本件運用ノ萬全ヲ期セラレ度此段依命及通

追而軍ノ復員ニ關シテハ別途通牒ヲ見込サルモ之ガ就職ノ聲請及採用（陸軍ニアリテハ就職ノタメ從軍證明書ヲ所持セシム）ハ他ニ優先シテ取扱ハルベキニ付豫メ御了知相成度爲念申添候記

一、當分ノ内各地方ノ勞務變動ノ實情ヲ當時把握スルノ要アルニ付本件取扱狀況ニ關シ廳府縣ハ別記様式ニ依リ動員課長宛旬報ヲ以テ速報スルコト

二、既定ノ動員計畫ニ對スル取扱ハ左ニ依ルコト

（一）左記通牒ニ依ル割當及動員ハ一應之ヲ取止メ必要アル事業ニ對シテハ其ノ都度斡旋スルコト

（イ）第二次勤労動員割當

（ロ）清酒轉換、アルコール、樟腦製造業割當

（ハ）戰災工場從業者等ノ措置

（ニ）工場從業者整理活用ニ關スル件ノ措置

（ホ）防衛生産體制確立ニ關スル件ノ措置

（二）石炭山ノ緊急割當ハ之ガ急速ナル完全充足ヲ期スルコトシ特ニ整頓縮少ヲ必要トスル工場等ヨリ一括之ヲ斡旋スル様措置スルコト

尙本措置第二ノ三ノ備考ノ二ハ今後期間滿了者ノ期間ハ延長ハ之ヲ爲サザルモ石炭山等ニシテ必要アル場合ハ就職勵獎、就職命令ノ方法ニ依リ之ガ確保ヲ爲ス趣旨ナルコト

（三）運通關係ノ緊急割當並松根油關係割當ハ從前通り充足スルコトトスルモ其ノ員數職種及給源等ニ付關係現地機關ト協議ノ上必要ニ應ジ若干ノ變更ヲ加フルモ可ナルコト

三、集團移入朝鮮人及華人勞務者ノ取扱ニ付テハ輸送其ノ他ノ實情ヲ勘案シツツ漸次歸還セシムルコト

四、別紙措置第二ノ一〇關係ハ左ニ依ルコト

（一）手待從業者等ヲ復舊作業、農業等ニ臨時出動セシメタルトキノ給與ハ本年七月三十日勤發第八四八號二〇管局第一二九號「勤労協力ヲ爲ス者又ハ機動配置セラレタル者ニ對スル給與ニ關スル件」厚生省勤労局長軍需省管理局長通牒ノ趣旨ニ依ルコト

（二）徵用期間延長ニ當リ既ニ徵用解除手當ノ一部ヲ支給シタル場合ニハ今回支給スペキ支給額ハ延長後ノ期間ニ對スル分ヲ以テ定ルモ前回ノ支給額ヲ含ミタル徵用解除手當合計額ガ今回一

般労務者ニ支給セラル慰労金基準ヲ下ル場合ハ一般基準ニ依ル慰労金ヲ支給スルコト

(三) 入營應召者ガ工場、事業場ニ復員後離職セシメラレタル場合ノ手當金ノ支給モ本措置ニ依ルコト

(四) 本措置ニ依ル給與金（休業手當ヲ含マズ）及退手法ニ依ル退職積立金及退職手當ハ原則トシテ期限三ヶ月以上ノ銀行定期預金ヲ以テ支給スルコト

但シ已ムヲ得ザル事情ニ依リ現金ノ支給ヲ必要トスル場合ニ於テハ月收三ヶ月分ニ相當スル金額ノ範圍内ニ於テ現金支給ヲ爲スモ差支ナキコト右銀行定期預金ハ期限到来後ハ全國各地銀行ニ於テ元利金ヲ受取り得ルモノナルコト

戰爭終結ニ伴フ工場事業場從業者ノ應急措置

第一、方針

戰爭終結ニ伴フ労務ノ再配置ニ付テハ產業轉換ノ進展ニ即應シ逐次爲サルベキモ差當リ緊要ナル民需產業ニ必要ノ労務ヲ確保スルト共ニ特ニ軍需產業ノ從業者ニ付急激ナル混亂ヲ防止シ併セテ離職從業者ニ對スル給與ノ基準ヲ定ムルハ現下喫緊ノ要務ナリ因テ左ノ要領ニ依リ應急暫定的措

置ヲ講ゼントス

第二、要領

一、工場事業場ニシテ左記產業ニ關スルモノハ現從業者ヲ一應其ノ儘繼續使用セシメ當分ノ内事業主ノ一方的意思ニ依ル解雇ハ之ヲ爲サシメザルコト

但シ退職ヲ希望スル者ニ付テハ代替者補充ノ方途ヲ講ジタル上之ヲ認ムルコト

製鹽業、肥料及農具等製造業

鐵、石炭、石油等素材生產事業

製藥其ノ他醫療關係品製造業

紡織其ノ他衣料關係製造業

食料其ノ他生活必需物資製造及修理業

陶磁器、紙、皮革、油脂、電氣機具、民需用機械器具、印刷業等民需品製造業

住宅其ノ他復舊土建關係業（セメント、製材、釘、家具其ノ他關聯資材器具製造業ヲ含ム）

運輸通信關係業（車輛、自動車、木造船、內海航路船其ノ他關聯資材ノ製造及修理業ヲ含ム）電氣、瓦斯、水道業

物資配給業

金融、保険業

其ノ他ノ民需産業

二、右以外ノ工場事業場ニシテ其ノ事業ヲ廢止又ハ縮少スル爲從業者ノ整理ヲ要スル場合ハ現下ノ輸送及住宅等ノ狀況ニ應ジ順次之ヲ實施セシムル様指導シ急激ナル一齊解雇ニ依リ混亂セシメザル様考慮スルト共ニ整理セラレタル從業者ノ爲國民勤労員署ヲシテ民需産業方面ノ求人開拓ヲ實施セシメ農林水產業各種復舊土建其ノ他前號ノ民需産業ニ積極的ニ斡旋スル様措置スルコト

三、被徵用者ノ左ニ依リ措置

(一) 第二ノ一ノ産業ニ從事スル被徵用者(現員被徵用者ヲ含ム)ニシテ解除ヲ希望スル者ハ代替者ヲ以テ之ガ補充ヲ爲シタル後其ノ解除ヲ爲スコト

(二) 其ノ他ノ産業ノ被徵用者(現員被徵用者ヲ含ム)ハ左ノ順ニヨリ順次就業地廳府縣ニ於テ解除ヲ爲スコト

コノ場合他廳府縣出身者ニアリテハ必要事項ヲ關係廳府縣ニ聯絡スルコト

(イ) 就業前農林水產業ニ從事シ居リタル者但シ不得已得理由ニ依リ繼續就業ヲ希望スル者ハ之

ヲ除クコト

(ロ) 就業前大工、左官、薦職、屋根職、疊職、板金工、土工タリシ者但シ不得已得理由ニ依リ繼續就業ヲ希望スル者ハ之ヲ除クコト

尙本人ノ復歸先廳府縣ハ勞務報國會ヲシテ之ガ確保ヲ爲サシムルコト

(ハ) 女子ニシテ家庭復歸ヲ希望スル者

(二) 就業前「第二ノ一」ニ記載セル産業ニ從事シ居リタル者公署雇傭員タリシ者其ノ他物品販賣業、理髮業等生活必需營業ニ從事シ居リタルモノニシテ原職復歸ヲ希望スル者

(ホ) 他ニ自活ノ途アル解除希望者

備考

一、(ニ)(ホ)ニ付テハ新規徵用者ハ現員徵用者ニ優先シ之ヲ解除スルコト

二、今後徵用期間ハ之ヲ延長セザルコト但シ引續キ就業ヲ希望スル者及勞務確保ヲ必要トルモノニ付テハ之ヲ雇傭セシムル措置ヲ講ズルコト

四、其ノ他ノ一般從業者ニ付テ其ノ解雇ノ順序ハ被徵用者ニ準ジ措置セシムルコトトシ所轄國民勤労員署ノ承認ヲ得タル上輸送ノ狀況ニ應シ順次之ヲ解雇セシムル如ク指導スルコト

備考 被徵用者及一般從業者ニシテ長期缺勤セル者ハ直ニ之ヲ解除又ハ解雇スルコト但シ病氣狀

勤者ニ付テハ本人ノ希望ヲ徵シタル上措置スルコト

五、學徒及女子挺身隊員ハ原則トシテ之ヲ學校及ビ家庭ニ復歸セシムルコト但シ「第二ノ一」ニ記載セル產業ニシテ其ノ事業ノ繼續上特ニ必要アル場合ハ速ニ代替者ヲ就業セシメテ復歸セシムルコトトシテ尙女子挺身隊員ニシテ繼續就業方希望スル者ハ繼續セシムルコト

六、勤勞協力措置ニ依リ臨時要員トシテ從事レアル者ハ原則トシテ之ガ解除ヲ爲スコト但シ現ニ輸送、荷役、礦山、農業及各種復舊作業等ニ出動シ居リテ特ニ必要アル場合ハ代替者ノ斡旋ヲ爲シタル上解除スルコト

七、三乃至六號ノ措置ハ所定ノ様式等ニ依ルコトナク事業主ヨリ解除又ハ解雇豫定者ノ連名簿ヲ提出セシムル等ノ方法ニ依リ手續ノ簡易迅速ヲ期スルコト

八、國民勤勞動員令ノ履入、使用、就職及從業ニ關スル禁止又ハ制限ノ規定（令第七條則第九條、令第十八條、則第十八條及第二十九條（但シ土建等日傭勞務者ノ統制ハ之ヲ除ク）第五十七條、則第六十九條）ハ之ヲ廢止スルニ付民需產業方面ニ於ケル雇傭及募集ハ動員署ヲシテ積極的ニ幹旋セシムルコト

九、工場事業場ニ於ケル勤勞統率ハ概ね從前ノ方針ニ則リ團結ノ規律ノ堅持ニ努メシムル外特ニ左ノ各號ニ依リ指導ヲ加フルコト

(一) 手待從業者ニ付テハ手持資材ニ依ル民需品ノ製造、工場農園ノ耕作職場ノ整頓等可及的手段解消方ニ付指導ヲ加フルコト

(二) 前各號ノ措置ヲ講ズルモ尙存スル手待從業者又ハ不得已得休業スル工場事業場ノ從業者ニ對シテハ廳府縣ニ於テ一定ノ計畫ヲ樹テ勤勞協力措置ニ依リ災害地其ノ他ノ都市清掃、水道、電氣瓦斯等ノ復舊作業、一般灾害復舊作業、鐵道及通信ノ復舊作業、荷役、農業等ニ臨時出勤セシムルコト

一〇、從業者ノ意志ニ依ラズシテ離職セル從業者ノ給與ニ付テハ左ニ依リ措置スルコト

(一) 勞務者ノ意志ニ依フズシテ離職セル勞務者ニ對シテハ當該工場事業場ニシテ當該工場事業場ノ定ムル退職手當（事業ノ都合ニ依ル退職ノ場合ニ於ケル額トスルコト）ノ外健康保險標準報酬月額又ハ最近三ヶ月ノ平均收入月額ヲ下ラザル慰勞金ヲ支給セシムルコト
被徵用者（現員被徵用者ヲ含ム）ニ對シテハ賃金規則ニ定ムル徵用解除手當ヲ支給シ前項ノ慰勞金ハ支給セザルコト但シ徵用解除手當ガ前項ノ慰勞金ヲ下ル場合ハ前項ノ慰勞金額ヲ徵用解

除手當額トスルコト

一八

(二) 新規被徵用者ニ對シテハ當該工場事業場ノ支給スル徵用解除手當ノ外國庫ノ負擔ニ依リ國民勤労動員援護會ヲシテ徵用慰勞金(一〇〇圓)ヲ支給セシムルコト

(三) 戰局急變ニ依リ在籍ノ儘休業セシメラレタル勤労者ニ對シテハ其ノ休業期間中健康保險標準報酬日額ノ六割ヲ下ラザル休業手當ヲ支給スルコト
勸發第八九二號

昭和二十年八月二十七日

地方總監府第三部長殿
廳 县 長 殿

厚生省勤労局長

金融業、運輸通信業並ニ建築業等ニ於ケル元從業者ノ原職復歸ニ關スル件

戰爭終結ニ伴フ事態ノ急變ニ對處スル金融業並ニ運輸通信業等ノ實情ニ鑑ミ差當リ歸還軍人、傷痍軍人ノ就職斡旋及先ニ軍需產業ニ配置轉換セルスノ種部門並ニ大工、左官、薦職、屋根職、疊職等

ノ建築業證券印刷業ノ從業者ヲ原職ニ復歸セシムルコトト相成候條左記ニ依リ急速措置相成度及通牒候

記

一、復歸セシムベキ者ノ範囲

歸還軍人、傷痍軍人及左ノ各項ニ依ル措置ニ依リ軍需產業ニ配置轉換セラレタルモノヲ對象トシ金融業ニアリテハ銀行、保険及信託業ニ付實施スルコト

イ、昭和十八年九月二十三日厚生省告示第百五十六號(所謂男子就業ノ禁止又ハ制限)ニ依ルモノロ、徵用又ハ指導勸奨ニ依ルモノ

ハ、前記「イ」「ロ」ニ依ルノ外金融業ニアリテハ客年五月二十五日發勸第一四三號金融業ニ於ケル從業者ノ配置及其ノ職域ニ關スル件通牒、運輸通信業ニアリテハ昭和十八年九月三日官廳、地方公共團體及勤労者徵用ニ關スル措置要領ノ件通牒ニ依ルモノ

二、實施手續
イ、歸還軍人及傷痍軍人ニアリテハ市町村其ノ他關係團體ト緊密ナル連絡ヲ採リ就職希望者ヲ調查スルコト

口、轉換者ニアリテハ工場事業場等ヲシテ當該轉換者中復歸希望者ヲ調査セシムルコト

ハ、前項ニ依ル調査ノ外從業者ヲ從前使用セル官衙、事業場又ハ勞務報國會支部ヨリ轉換先ラ明セル名簿ヲ提出セシメ措置スルモ可ナルコト尙金融業ニアリテハ職域徵用實施ニ際シ作成セシメタル供出男子人名表等ニ依ルモ差支ヘナキコト

ニ、就業先又ハ復歸先他廳府縣ニアルモノニ付テハ相互ニ連絡スルコト

ホ、廳府縣前各項ニ依リ調査シタル復歸希望者ノ連名表ヲ復歸先官衙又ハ事業場毎ニ作成シ當該官衙又ハ事業場ニ送付スルコト

三、受入措置

イ、歸還軍人及傷痍軍人ニアリテハ關係各機關又ハ事業場ヲシテ優先採用セシムル如ク措置スルコト

ロ、復歸先官衙又ハ事業場ハ廳府縣ヨリ送付セラレタル連名表ニ基キ速ニ採用ノ措置ヲ講ズルコト

採用決定シタルモノニ付テハ廳府縣ハ工場事業場ヲシテ速ニ解雇又ハ徵用解除ノ手續ヲ執ランムルコト

ハ、事業ノ廢止、閉鎖又ハ縮少等ニ依リ轉換困難ナル者ニ付テハ他ノ適當ナル斯ノ種部門ニ優先採用セシムル如ク斡旋スルコト

ニ、受入官衙、事業場、金融機關又ハ全國金融統制會（地方ニアリテハ同會地方委員）等ノ關係機關ノ積極的ナル協力ノ下ニ實施シ受入ヲ拒避スルガ如キコトナカラシムルコト

ホ、建築關係者ニ付テハ住宅營團（支部）土建請負業者等ニ雇傭セシムル如ク措置スルコト

四、其ノ他

イ、其ノ他必要事項ニ關シテハ別途通牒セラルル「工場事業場從業者ノ戰後應急措置」ニ依ルコト

ロ、昭和十八年九月二十三日厚生省告示第五百五十六號ハ八月二十三日廢止セラレタルコト
厚生省發動第一九二號

昭和二十年八月二十九日

各 地 方 總 監 府 副 總 監 殿

厚 生 次 官

戰爭終結ニ伴フ歸還軍人ノ復員ニ關スル應急措置ノ件

戰爭終結ニ伴フ軍ノ復員ハ既ニ一部開始セラレ十月上旬頃迄ニ内地部隊全部ノ實施ヲ見ルニトト被存之ガ必要施策ハ現ニ講究中ニ有之候得共差當リ入營者職業保障法ノ精神ニ則リ前職復歸及優先採用ヲ建前トシ左記手續ヲ講ジ之ガ圓滑ナル復員ヲ計ル様致度此段及通牒候也

追テ本件實施ニ當リテハ先づ關係陸海軍當局特ニ陸軍ハ聯隊區司令部海軍ハ人事部及地方人事部ト當時緊密ナル聯絡ヲ圖ルト共ニ特ニ退職軍人ノ取扱ハ陸軍ニ付テハ遺族傷痍軍人保護並退職軍人職業輔導會支部及海軍ニ付テハ復員援護會支部ト提携シ尙傷痍軍人ニ付テハ傷痍軍人援護會支部及傷痍軍人會支部ト協力シ適切ナル措置ヲ講ズル様致度尙歸還及退職軍人軍屬ノ大多數ハ歸還後一度其ノ家庭ニ歸郷シタル後更メテ前職復歸又ハ新規就職ヲ爲ス可キニ付差當リ各國民勤勞動員署ニ専門ノ係ヲ設ケ之ガ就職及自營業斡旋ノ中心機關クラシムルト共ニ必要ナル市町村ニハ之ガ相談斡旋ノ施設ヲ設クル等實情ニ應ジ萬遺漏ナキヲ期セラレ度

殊ニ現在滿洲、臺灣、朝鮮、樺太出身者ノ退營者ニシテ歸郷不可能ナル爲差當リ困惑セル者ヲ生ジ居ルニ付直ニ適當ノ措置ヲ講ズル様致度

記

一、前職ヲ有スル傷痍軍人、歸還軍人軍屬ハ前職復歸ヲ原則トシ左ニ依リ措置スルコト

(一) 入營應召前徵用又ハ雇傭サレ居リタル者ニ對シテハ可及的簡易ナル方法ニ依リ入營者職業

保障法ニ基ク手續ヲ講ゼシメ極力前職ニ復歸セシムルコト

(二) 入營應召前應徵士タリシ者又ハ現ニ應徵士タル者ニシテ其ノ徵用先事業場ガ廢止又ハ著シキ縮少ヲ爲ス場合ハ召集解除ト同時ニ徵用ヲ解除シ直ニ其ノ者ノ徵用前ノ原職ニ復歸セシムルコト

(三) 入營應召前農林水產業其他ノ自營業ニ從事シ居リタル者ハ之ヲ前事業ニ復歸セシムルコト

トシ直ニ前事業ヲ再開シ得ル如ク極力斡旋スルコト

二、入營應召前學徒タリシ者ニシテ學校ニ再入學セントスル者ハ優先的ニ入校シ得ル如ク措置スル事

三、前職ニ復歸シ得ザル傷痍軍人歸還及退職軍人軍屬又ハ歸還退職後新ニ就職ヲ希望スル者ハ原則トシテ各官公署及民間會社工場ニ於テ優先採用セシムルコトトシ左ノ方法ニ依リ速ニ之ヲ就職セシムルコト

(一) 第一線行政官廳、公共團體、學校等ニ於テ可及的ニ之ヲ採用スルト共ニ一般民需產業ニ對シ國民勤勞動員署等ヲシテ求人開拓ヲ實施セシメ尙自營業開業ノ斡旋ヲ爲サシムルコト

(二) 運輸、通信、土木、建築、警備等ノ特殊任務ニ從事シ居リケル軍人軍屬ノ集團方歸還スル場合ハ可及的一團トシテ其ノ技能ヲ利用シ得ル方面ニ移ス様措置スルコト

(三) 民需關係ノ各事業ヨリ左ノ者ヲ解雇又ハ解除シ傷痍軍人歸還及退職軍人軍屬ヲ代替採用セシムルコト

(イ) 農林水産業復歸希望者

(ロ) 大工、薦、屋根職、疊職、板金工、土工復歸希望者

(ハ) 女子年少者及高年齢者ニシテ家庭復歸ヲ希望スル者

(ニ) 其他轉退職希望者及徵用解除希望者

(ホ) 學徒、女子挺身隊其他勤報隊

戦争終結ニ伴フ復員者ノ職業對策要綱 (八二七勤労局案)

第一、方針

戦争終結ニ伴フ復員者ノ職業對策へ國民ノ完全就業ヲ目途トスル職業再配置計畫ニ基キ實施スベキモ國民生活ノ維持及民心ノ安定ヲ圖ルガ爲、差當リ復員者ハ之ヲ前職ニ復歸セシムルコトヲ建

第二、措置

一、前職復歸

(一) 傷痍軍人、歸還軍人軍屬及應徵士ニシテ解除セラレタル者(以下歸還軍人及應徵解除者ト稱ス)ニシテ前職復歸ヲ希望スル者ハ原則トシテ前職(自營業ヲ含ム)ニ復舊セシムルコト

(二) 入營應召前徵用サレ居リタル者ニシテ其ノ事業場ガ廢止又ハ著シキ整理縮少ヲ爲ス場合ハ召集解除ト同時ニ徵用ヲ解除シ直ニ其ノ者ノ徵用前ノ原職ニ復歸セシムルコト
備考

(一) 本措置ハ一應入營者職業保障法ニ依リ之ヲ實施スルコト

(二) 本措置ヲ實施セシムル爲、必要アル場合ハ操業時間短縮又ハ交替制ノ採用ヲ行ハシムルコト

二、優先採用

(一) 新ニ人ヲ雇傭スル場合、傷備軍人、歸還及退職軍人軍屬、應徵解除者、戰災者及軍人遺屬ハ優先採用セシムルモノトス
特ニ重度傷備軍人ニ對シテハ要スレバ強制雇傭セシメ得ル如ク法的措置ヲ講ズルコト

(二) 歸還軍人及應徵解除者ニシテ自營業ヲ開業セントスル場合ハ原則トシテ之ヲ優先的ニ開業セシムル措置ヲ講ゼシムルコト

三、就職ノ抑制

歸還軍人、應徵解除者、戰災者及軍人遺族ニシテ前職ニ復歸シ得ザル者ヲ就職セシムルコトヲ目途トシ左ノ措置ヲ講ズルコト

(一) 女子及年少者高年者ニシテ家庭復歸又ハ他ニ自活ノ途アル者ノ特定ノ職業ニ對スル雇傭ノ制限又ハ禁止

(二) 各種ノ勤労奉仕的就業ノ抑制

(三) 他ニ生活シ得ル收入ノ途アル者ノ雇傭ノ抑制

備考

入營應召又ハ徵用前學徒タリシ者ニシテ學校ニ再入學セントスル者ハ優先的ニ入校セシムルコト

ト

尙將來必要ト認メラル各種ノ學校ヲ增設シ且義務年限其他一般修學年限ヲ延長スルコト
四、授職

(一) 一般失業救濟事業

(イ) 官公營事業特ニ左ノ事業ハ總テ登錄失業者ヲ採用スルコトヲ條件トシテ實施スルコト
開墾事業

復興土木事業（都市清掃、後片附、道路、上下水道、鐵道、軌道、建築、都市計畫、港灣關係事業）

(ロ) 之等諸事業ハ原則トシテ國及地方公共團體ヲ主體トシ支拂賃金額ニ對シ適當ナル國庫補助ヲ與ヘテ之ヲ實施スルコトスルコト

(二) 事務及技術職員失業救濟事業

(1) 官公署特ニ町村役場、農業會等末端機關ノ事務、教育及警備事務等ヲ擴充シ事務職員失業者ヲ採用セシムルコト

(ロ) 國、地方公共團體及其他適當ナル團體ハ事務職員ノ失業者特ニ多數ナル地方ニ於ア各種研究調査、計算、製圖、戸籍簿ノ作製、翻譯、文書整理、筆耕等事務職員向ノ失業救濟事業ヲ一定ノ國庫補助ノ下ニ實施セシムルコト

(ハ) 特ニ技術者ハ殘存工場ノ現場指導者及學校職員ニ轉換セシムル外前號ノ失業救濟事業ノ研究、製圖等ニ從事セシムルコト尙農業關係科學技術者ニ付テハ可及的農業會地方公共團體ニ就職セシメ以テ農村ノ生產指導ヲ圖ラシムルコト

(三) 職業訓練及補導授產

(イ) 失業者中年齢三十歳未滿ノ者ニ對シテハ之ヲ國立ノ職業訓練所ニ收容シ再訓練ノ上集團的ニ復與事業、開墾土建事業其ノ他適當ナル事業ニ從事セシムルコト

(ロ) 大工具ノ他必要ナル職業ノ補導ヲナス爲職業補導施設ヲ擴充スルコト

(ハ) 新ニ鑄掛屋、理髮、靴傘修繕、家具製造、衣服更生等簡易ナル自營業ヲ開業スルニ必要ナル補導ヲ爲ス爲地方公共團體ヲシテ一定ノ國庫補助ノ下ニ自營業補導所ヲ設置セシムルコト

(二) 必要ニ應ジ地方公共團體ヲシテ一定ノ國庫補助ノ下ニ各種ノ授產施設ヲ設ケシムルコト

(四) 日傭勞務ノ福利厚生施設ノ整備

日傭勞務ノ積極的斡旋ニ資スル爲之ガ福利厚生施設ヲ整備スルコトトシ別ニ設置セラル勞務協會（假稱）ヲシテ國庫ノ助成ノ下ニ右實施ニ當ラシムルコト

備考 失業ノ防止ノ爲事業ニ對スル國家保障、低利資金貸與等ノ方法ヲ講ジ必要民需產業ヲ急速ニ振興セシムルコト

五、失業登錄及解雇ノ届出

(一) 常時失業者ノ數ヲ明ニシ之等ニ對シ授職ヲナスガ爲失業者ノ登錄制度ヲ實施スルコト

(二) 大口解雇ノ場合ハ前以テ動員署ニ届出ヅル義務ヲ事業主ニ負ハシムルコト

六、機構ノ整備強化

(一) 綜合的復員對策ノ樹立ヲ圖リ之ガ迅速ナル遂行ヲ期スル爲中央及地方ニ臨時復員對策委員會ヲ設置スルコト

(二) 職業斡旋機構ヲ整備充實スル爲

(イ) 國民勤労員署ヲ職業指導所ニ改メ職業斡旋ノ第一線機關タラシムル様之ガ充實ヲ圖ルコト

(ロ) 日傭労務ノ積極的斡旋ノ緊要ナルニ鑑ミ新ニ之ガ協力機構トシテ労務協會（自稱）ヲ設立シ日傭労務ノ斡旋組織ヲ整備スルコト
右労務協會ノ設立ニ伴ヒ大日本勞務報國會ハ之ヲ解散セシムルコト

(ハ) 職業斡旋特ニ職業開拓ノ積極的且迅速圓滑ナル遂行ヲ圖ル爲職業指導所ノ聯絡委員制度ノ充實強化ヲ圖ルト共ニ市町村長、關係官衙、商工經濟會、各種產業團體等ノ關係者ヲ以テ組織スル綜合復員協議會ヲ職業指導所ニ設置シ併セテ之ガ下部機構ヲ主要市町村ニ設置スルコト

二、勤 勞 署 設 置 關 係

- 一 昭和二十年十月六日勅令第五百六十號（舊職廳官制改正等ノ件）
- 一 昭和二十年十月九日厚生省令第三十九號（職業紹介法施行規則中改正等ノ件）
- 一 勤勞署ニ關スル件（昭二〇・一〇・六、發勅第一一三號厚生次官）